

宇都宮市立桜小学校 第5学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「将来の夢や目標をもっている」の肯定的割合が90%を超え高くなっている。キャリア教育の実践のなかで生かしていきたい。

○「自分には、よいところがあると思う」の肯定的割合が市や県の平均を上回っており、今後も自己肯定感が高まっていくように活動を充実していきたい。

●「就寝時刻」「早寝・早起き」「家でのきまりや約束を守る」の肯定的割合が市の平均を下回っている。スタンダードダイアリーの「生活習慣チェック」などを活用して、基本的な生活習慣の定着を図っていききたい。

●学習に対して、「自分から進んで取り組んでいる」「難しい問題にであうと、よりやる気ができる」の肯定的割合が、市の平均を下回っており、学びの楽しさや質を高め、意欲をもって取り組めるようにしていきたい。

○「家で学校の宿題をしている」の割合が95%を超え高くなっている。具体的な学習方法（復習・間違い直し・自習学習）提示していくことで、さらに定着を図っていききたい。

○「辞書を使って調べている」割合が、市や県の平均を上回っている。今後も学習の中で、積極的に活用していきたい。

●失敗を恐れ、グループでの話し合いなどで積極的に意見を発表している割合が低くなっている。学級活動や学習の中でも話し合い活動を充実していきたい。また、お互いのよさを認め合える雰囲気も高めていきたい。

宇都宮市立桜小学校（第4・5学年共通）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
つかむ、学び合う、まとめる、振り返るを活用した学びのスタイル「さくらの学び」の充実	すべての学級に学びのサイクルを掲示し、授業で継続実施している。振り返りに重点を置き、ポイントも明示しノート等に書く時間を設けている。	「授業では、授業の目標（めあて・ねらい）が示されている」の質問に肯定的に回答した児童の割合が、4・5年生ともに、85%以上だった。「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている」の質問に肯定的に回答した4年生児童の割合は、県の平均と比べて高くなっている。
家庭学習の定着に向けた指導の工夫	年2回の「学習がんばり週間」を実施し、家庭と連携して望ましい家庭学習の習慣作りに努めている。「自主学習のやり方」「自主学習記録表」も学年の発達段階に応じて活用している。	4・5年生ともに、「家で、学校の宿題をしている」に肯定的に回答した児童の割合は96%を超えているが、「家で学校の授業の復習をしている」は、60%未満である。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
質問紙から、「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の肯定的な割合が市の平均を下回っていた。授業の中でも自分の考えを伝えたり、広げたりするのが苦手な傾向が見られる。	子どもたちの考えを効果的につなげたり、深めたりするための対話的・協働的な活動の充実	ペアやグループなどの学習形態を工夫して、課題の解決に向けて互いにアドバイスや助言をする場を設定し、対話的・協働的な活動ができるようにする。児童の発達段階に応じた「話し合いの仕方」を活用する。